

# 研究実施のお知らせ

2024年10月17日 ver.1.2

## 研究課題名

LC-MS/MS を用いたグリコサミノグリカン値の非ムコ多糖症患者における分布に関する後方視的検討

## 研究の対象となる方

- 1) 2014年4月以前に島根大学医学部附属病院小児科で診療の目的で血液、尿、髄液を採取および保管させていただいた患者さんのうちムコ多糖症ではない方
- 2) 2019年4月以前に島根大学医学部附属病院・難病総合治療センターで血清もしくは尿の検査を受けた患者さんのうちムコ多糖症ではない方、かつ島根大学医学部附属病院（当院）を受診していない方。

## 研究の目的・意義

グリコサミノグリカン（GAGs）は、骨や皮膚などの組織において身体の形成にかかわる役割を果たしています。また、神経機能の制御等にも関わっています。GAGs を分解する酵素が先天的に産生されないムコ多糖症は、GAGs が蓄積する疾患です。

我々は検体中の GAGs 濃度を測定する新しい方法を開発しました。今回の研究ではムコ多糖症の患者さんにおける GAGs と比較するためのムコ多糖症ではない人達の GAGs の分布を調べたいと考えています。ムコ多糖症の患者さんにおいて GAGs が上昇している、という判定を行うために今回の研究成果が大切な役割を果たします。

## 研究の方法

本研究では、以下の血液検体・尿検体・髄液検体を使用します。すでに採取され島根大学で保管されている検体を用いるため新たな検体の採取はありません。

1.

当院で保存していた血液検体・尿検体・髄液検体とこれらの患者さんの年齢、性別、疾患の有無の情報を本研究では使用します。全ての検体及び情報は島根大学において個人が特定できない状態としたうえで使用します。今回の研究に使用した検体は、2026年3月31日まで保管したのちに適切に破棄します。情報は研究結果の最終公表を行ってから10年間保管したのちに適切に破棄します。

- ・本研究によって分析した検査結果は患者さんにお伝えすることはありません。
- ・本研究で収集した試料・情報は、今後新しい分析の開発などの研究に使わせていただく可能性があります。これを二次利用といますが、この様な二次利用を行う際には、その妥当性について再度島根大学医学部附属病院における倫理審査委員会の審査を受けるとともに、その研究に対して適応される法令等に従い、適切な措置を講じます。

## 研究の期間

2024年9月26日～2026年3月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院検査部 講師 小林弘典

## 試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

利用停止のお申し出は、2025年3月までにお願いたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

なお、難病総合治療センターの試料（検体）・情報については、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院検査部 小林弘典

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2409（秘書室） FAX 0853-20-2409